

おひさま通信

第一号



みなさま、こんにちは。このたびは「南信州おひさまファンド」にご出資いただきありがとうございます。この「おひさま通信」は、みなさまに出資していただいた事業の進捗状況をお知らせするものです。発行は、毎年6月の事業報告と併せて年1回となりますが、機会のある度にお届けする予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

<目次>

おひさま発電所、さっそうと稼働開始！
おひさま発電所施設の方々の声
もう一つの事業、エスコの進展は？
お知らせ

2005年6月

おひさま進歩エネルギー有限公司

長野県飯田市本町2-15 いとうや3階

電話：0265-56-3711 FAX：0265-56-3712



<おひさま発電所のマスコットキャラクター「さんぼちゃん」は、一步二歩三歩と着実に歩みます>



おひさま発電所、さっそうと稼動開始！

新設 37 ヶ所の発電所と既設 1 ヶ所、あわせて 38 力所の発電所が、この 4 月「おひさま発電所」として運転を開始しました。設備容量は約 208kW、年間で約 23 万 kWh の電気を生み出す予定です。この電気は発電設備を設置した各施設で買い取っていただいています。また、おひさま発電所からの電気とは別に太陽光の環境価値を「グリーン電力」として今後販売していく予定です。



太陽光発電装置（鼎みつば保育園）

グリーン電力とは？

太陽光・風力等の自然エネルギーから生まれた電力は、明かりをつけたりエアコンを動かしたりする電気としての力（価値）に加え、省エネルギー・二酸化炭素削減などといった「環境付加価値」を持っています。グリーン電力は、化石燃料や原子力からの電力とは区別して、自然エネルギーの環境付加価値部分のみを切り離して消費者が売買できる方法として生まれました。

現在、日本ではグリーン電力の価値を形にした「グリーン電力証書」という形で取引が行われており、中立な第三者機関（グリーン電力認証機構）による認証制度も整備されています。



おひさま発電所設置施設の方々の声

おひさま発電所設置施設の方々を代表して、明星保育園と竜丘保育園の園長先生方に色々とお話を伺ってきました。

宮下園長先生、山内先生の話（明星保育園）

私たちの園の意思として、地球環境に目を向けて子供たちに明るい未来を残すということがあります。そういう意味でも、子供たちを育てるのに地球環境問題と向き合うことは共通に取り組む課題だったので、おひさま発電所への取り組みを喜んでやらせていただいています。子供達の変化や、親御さんたちの変化を目の当たりにするのがすごく楽しみです。また、私たちの自己改革という意味でも、活用させていただきます。

子供たちのおひさまの力に対する意識は格段に変わっているようです。例えば、子供たちがおひさまを意識した会話をしているのをたびたび聞きます。停電になった時も、「今はおひさまがお休みしているんだ」「おひさまが消えちゃったのはおひさまが休んでいて力をためているんだ」等の会話が聞かれます。そういった素直な反応に私たちも感動しています。また、曇りの日に発電表示機（写真 1）のランプの明かりが弱く見える時も、そのような会話を親御さんたちとしているようです。

子供たちからだけではなく、親御さんたちからも様々な話を聞くことが



山内先生（左）と宮下園長先生（右）



*写真 1：各発電所に設置されている発電表示機

あります。例えば、連絡帳におひさま発電所に関係することを書いてくださいます。おもしろい話では、おとうさんが家で電気をつけると、子供が「まだつける時間ではないよ」と注意したという話がありました。また、待機電力を減らすと電気料金がずいぶん減るということをお話してあげたのですが、子供がそれを家で親に伝えるようです。子供を通して親御さん達の環境意識の変化がおきているといえるのではないのでしょうか。

おひさま進歩エネルギーさんへの要望として、保育園で終わりではなく、園児がおひさま発電で学んだことが小学校教育につながるような取り組みをしていただけたらと思います。私たちとしても、当園を卒業した園児達が、今後どのように育っていくのかすごく楽しみです。

田中園長先生の話（竜丘保育園）

このような取り組みをしていただいたことに対して大変うれしく思っています。子供にとってもよいことだし、楽しいことです。特にさんぼちゃんは大人気で点灯式（写真2）では大騒ぎになりました。点灯式が終わってさんぼちゃんが帰るときには、悲しくて泣き出してしまった子もいました。

環境教育という点でも、効果は大きいと思います。簡単な例を挙げると、発電量表示装置を見て発電量の意味を尋ねたりする子供もいるんです。「3(kW)ってどういうこと？」とか。そして、私も詳しくはわかりませんが、一応それに対して「おひさまが電気を作っている量だよ」といったように、答えるわけです。それを、家に帰ってから子供たちが親御さんたちに話す。それに対して親も説明をする。そして、親の環境意識も高まりますよね。おひさま発電所を設置したことによって、本当に色々と良いことが広がっているように感じます。



田中園長先生



*写真2：点灯式の様子



もうひとつの事業、エスコの進展は？

エスコ事業は事業所等に対して省エネの可能性を診断し、具体的な改善提案と改良・施工を行って、エネルギーコストを実際に削減させる事業です。削減したエネルギーコストから機材購入や設置工事などの初期投資費用を回収し、さらに関係者に利益も生み出すものです。大規模工場やオフィスビルのエスコはすでに実績ある事業として展開されており、上場企業も生まれています。私たちが飯田市で進めるエスコ事業の特徴は中小商店などを対象とした小規模エスコである点です。日本の事業所の90%以上は中小企業であり、そのような事業所への省エネが進められなければ、日本の省エネは進んでいきません。

今年度は総事業費約2億円分のエスコ事業の着手を目標にしています。その実現のために、地域の商工会議所等の業界団体



エスコパンフレットも完成！

や飯田市など地域のみなさまからのご協力をいただき、地域ぐるみの取組みとなるよう、尽力してまいります。

エスコ事業始動！

6月前半に、「ほっ湯アップル」さん、「柚木元」さん、「鳥金」さん、「八十二銀行飯田支店」、「いとうや」さんにお邪魔して診断をさせていただきました。今号では、「ほっ湯あつぷる」さんでの診断の内容を簡単に紹介いたします。「ほっ湯あつぷる」さんは、温水プールなど多くの健康・リクレーション設備を有し、飯田市民や観光客に好評の、飯田市健康増進施設（1999年開業）です。エスコへの期待もたいへん大きなものを感じました。診断を終えての感想ですが、「さすが環境文化都市飯田の施設だけのことはある」と思いました。環境への配慮が各所になされています。豊富で高温な温泉を巧みに使った水・熱管理、外光をふんだんに取り入れる建屋設計、新鋭のエコアイス式空調施設などなど。ただ、省エネルギーのための技術・工夫も日進月歩です。この診断結果にもとづき、我々なりの各種の省エネルギー提案を近日中にさせていただく予定です。「ほっ湯アップル」さんの環境改善への熱意と事業コスト削減意欲に答えられるよう、しっかり取り組んでいきたいと思ひます。



「いとうや」さんでのエスコ診断の様子



お知らせ

エスコ展示場 6月下旬に開設

お客さまにエスコのすばらしさと効果を実感していただくことを目的として、6月下旬におひさま進歩エネルギー事務所にて、エスコ展示場を開設いたします。例えば、蛍光灯やスポットライトの従来型と省エネ型について、実際に性能を測定し、比較できるように展示します。

「おひさま発電所オープニング記念ツアー」開催について

本年秋頃に、出資者の皆様を対象に「おひさま発電所オープニング記念ツアー」を飯田市にて開催する予定です。おひさま発電所への訪問はもちろんのこと、環境文化都市飯田の魅力をふんだんに感じていただけるようなイベントを盛りだくさんでお届けできるようにと考えております。みなさまのお名前が記された記念碑もそれまでに完成予定です。内容が確定し次第皆様にご連絡申し上げますので、どうぞご期待ください。

おひさま発電所への個別訪問に関して

おひさま発電所への個別訪問をご希望の方はおひさま進歩エネルギー事務所までご連絡ください。宿泊先、交通方法等の情報を提供させていただきます。

《編集後記》保育園へのインタビューでは、みなさまの出資によって設置したおひさま発電所が、設置施設での環境学習にも効果を発揮していることがわかりました。今後も地域のみなさまにも愛される事業であるよう運営していきたいと思ひます。なお、次号のおひさま通信は、ツアーのご案内もあわせて秋ごろを予定しています。ホームページでは随時最新情報を公開していく予定です。こちらませひご覧ください。

ホームページ：<http://www.ohisama-energy.co.jp/>